

はしご自動車共同整備・共同運用事業

— 安心・安全につながる懸け梯 —



35m級はしご付消防自動車(先端屈折式)



About joint maintenance

鈴鹿市及び亀山市による はしご自動車の共同整備・共同運用について

鈴鹿市及び亀山市は、両市圏域内の人口減少が進行し財源が限られる中、出勤頻度に対して整備費用が高額であるはしご自動車を両市で共同整備・共同運用することにより、財源の効率的な配分を図り、もって両市圏域内の消防力の充実強化を図ることを目的として、共同整備・共同運用を行うことになりました。

Background/History

背景・経緯

国は、広域化に至っていない地域への対応として、平成29年4月1日付けで「市町村の消防の連携・協力に関する基本指針」を示しました。

この基本指針に基づく、消防の連携・協力のモデル構築事業の提案募集に対して、鈴鹿市消防本部及び亀山市消防本部によるはしご自動車等の共同整備に向けた調査・研究の提案が採用されました。

これにより、両市は両市の消防職員で構成する検討委員会を設置し、諸課題を検討するとともに、共同整備した場合の運用効果や財政的な効果に関する科学的分析を行うため、(一財)消防防災科学センターに委託した調査・検討の結果、共同整備の有用性が確認できました。

令和元年10月には、地方自治法上必要な連携協約を締結し、県知事に連携協約書の届出を行ったほか、令和2年9月には共同運用に係る協定を締結するなど、準備を進め、令和3年2月から運用を開始することになりました。



SUZUKA F.D.





Contents

はしご自動車の共同整備・共同運用の内容

01

はしご自動車は、両市圏域内で発生した中高層建物(4階建て以上)火災、高低所の救助事案及びはしご自動車を必要とする事案に出動します。

02

はしご自動車の整備費、運用に係る維持管理費等は、両市で締結した協定に基づき分担します。

03

両市の円滑な連携を図るため、合同消防訓練を定期的に行うほか、交通障害などの地理状況や中高層建物の新設状況などの的確な情報共有に努めます。

 **KAMEYAMA F.D.** 

About fire ladder truck

35m級はしご付消防自動車 (先端屈折式) について

両市の共同整備により購入したはしご自動車は、株式会社モリタ社製で様々な消火・救助活動に対応できる機能性に優れた装備を採用しています。

主な装備としては、はしごの先端屈折、4輪操舵、電動放水銃、伸縮水路などであり、これらの装備に加え、高性能な各種制御装置も備えています。

運用開始

令和3年2月3日(水)

配備場所

鈴鹿市 鈴鹿市中央消防署

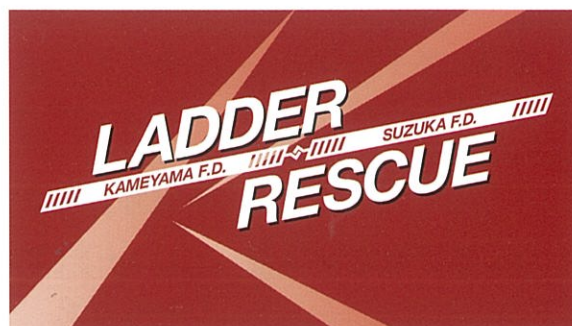
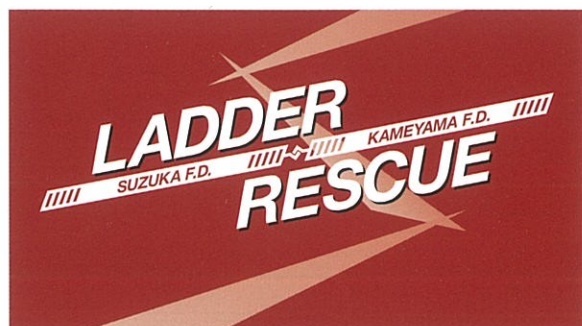
亀山市 亀山消防署

車両概要

| | | | |
|-------|----------------|-----------|--------|
| 車両型式 | 日野 2DG-PR1APJF | 総排気量 | 8.866L |
| シャシ | はしご車専用シャシ | 最大地上高 | 約35.3m |
| 全長 | 11,500mm | 乗車定員 | 6人 |
| 全幅 | 2,495mm | バスケット許容荷重 | 400kg |
| 全高 | 3,650mm | リフト許容荷重 | 300kg |
| 車両総重量 | 約20,700kg | | |

車両側面デザイン

共同運用のアピール要素を強調したデザインを採用し、デザインの背面には夜間でも視認性の高い反射テープを用いて、両市のイニシャルを取り入れました。



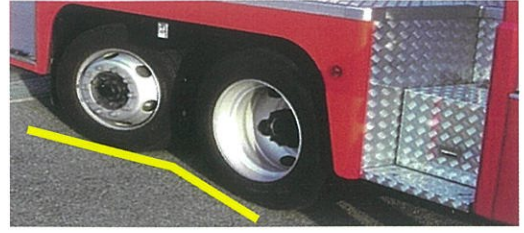
主な装備

1 先端屈折



はしごの先端が屈折することで塀などの障害物を乗り越えて、バスケット部分を対象物により近づけることができ、より安全でスムーズな救助活動が可能となります。

2 四輪操舵



高い速度域での車両安定性を向上させるほか、前輪操縦時に後輪が前輪と逆方向に向くことにより回転半径を小さくすることができます。

3 電動放水銃



バスケットに装備された電動放水銃は、バスケット及び基部操作装置からの操作が可能で安全に高所からの大量放水（最大 2,000L/min）ができます。

4 伸縮水路



水路がはしごの動きに合わせてスムーズに伸縮するため、起伏、伸縮、旋回、屈折の時でも自由な放水が可能で、状況に応じた迅速かつ確実な消火活動ができます。

5 高性能制御装置

制振制御装置

はしごの起伏、旋回時に発生する揺れを検出し、瞬時に打ち消す制御を行うことで、はしごの揺れを抑制する装置です。

音声ガイダンスシステム

従来のはしご自動車の状態を表す警報音に加え、梯子コンローラから出力された信号を認識し、音声により、はしご自動車の状態(全60種類)を的確に案内するシステムです。

垂直・水平制御機能

基部操作装置及びバスケット操作部の垂直・水平制御スイッチを押すことで、操作レバーとコンピュータ制御により、はしごを垂直上昇、垂直下降、水平前進、水平後退できる制御装置です。

はしご自動収納機能

基部操作装置のはしご自動収納スイッチを押すことで、コンピュータ制御により、はしごを自動ではしご受けに収納する制御装置です。

LADDER SUZUKA F.D. KAMEYAMA F.D. RESCUE

Suzuka city and Kameyama city
share one Ladder Truck.

Suzuka fire department

鈴鹿市消防本部

所在地 〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町217-1
TEL 059-382-0500(代)
FAX 059-383-1447
Webサイト <https://www.city.suzuka.lg.jp/shobo/>

Kameyama fire department

亀山市消防本部

所在地 〒519-0165 亀山市野村四丁目1-23
TEL 0595-82-0244(代)
FAX 0595-83-5711
Webサイト <https://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>